株式会社石川製作所

会社案内



自動車で磨いた
線材曲げ加工を、次の製品へ。

ホースバンド、クリップ、特殊線ばねの製造

創業から約80年、線ばね一筋



弊社は1946年に創業して以来、主に自動車業界のニーズに応えながら、
線ばね製造一筋でその技術を磨き、あらゆる苦境を乗り越え成長を遂げてきました。

特に品質には徹底的にこだわり、精度が高い製品をお客様にお届けできるよう、
各工程で不良品の流出を防止する機能が整えられております。

今後は創業以来培ってきたノウハウを活かし、自動車業界だけではなく、世界中の
様々なニーズに応えながら、日々成長・発展を目指していきます。

代表取締役社長　荒川 和哉

私たちの目指す姿

金属線材曲げ加工技術を“バネ”にして世界を面白くする会社

数字で見る石川製作所

0.03 PPM
不良率

約1億2,000万 個
1年間の製造数量

100 %
納期遵守率

5 年連続
客先品質表彰（2020年より）

Φ0.7～4.0 mm
対応線径（設備により異なります）

27 台
自社製フォーミングマシン

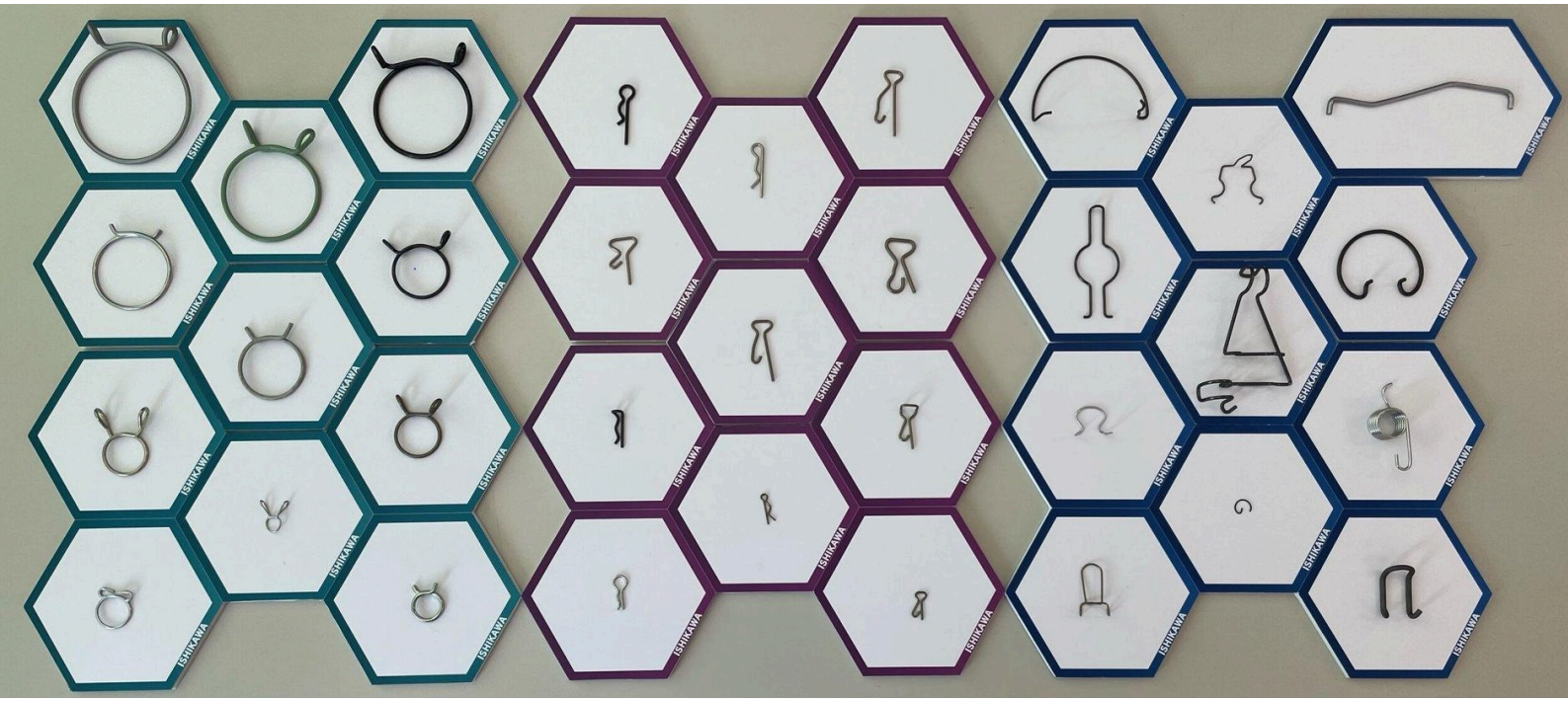
石川製作所の強み

1. 組織全体における品質管理体制の完備
2. 競合他社にはない付加価値を生み出せる組織力
3. IT化による生産管理、在庫管理で、納期遵守率100%

工場内では、自社オリジナルで設計・製造した機械が多数稼働し、金型も自社で作っています。



さまざまな形に、線材を曲げる



ホースバンド

ガス、水道、電器、自動車など広い分野で使われ、ホースを緊締保持する器材です。安定した技術と品質を誇る、代表的な製品群の一つです。

クリップ

機器や部材を円滑かつ安全に作動させるため、移動や干渉の防止、抜け止め、滑落防止に使われます。ホースクリップ、ピンバンドとも呼ばれます。

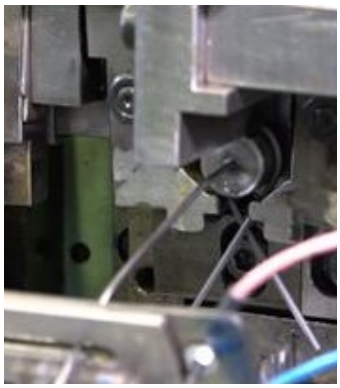
特殊線ばね

線ばねの特性を活かした、複雑多岐にわたる特殊形状のばね群です。多品種少量にも対応しています。

フォーミング加工が使われる分野

自動車部品　産業用機械部品　資材　家電品　電子部品　日用雑貨





金属線材を、機械と金型で曲げる

当社がつくるのは、らせん状のばねとは違う「特殊線ばね」です。金属の線材を自在に曲げて形づくり、自動車のエンジンやブレーキ、シートなど、人の命や安心に直結する重要部品にも使われています。

対応できる範囲と製造工程

加工方法	フォーミング加工（曲げ加工）
線径	Φ0.7～Φ4.0mm（設備により異なります）
使用材料の例	ばね用硬鋼線、ステンレスのばね材（SUS304）
金型	社内で製作
生産体制	量産を中心に、多品種少量にも対応
熱処理	社内のバッチ式熱処理炉で焼鈍（300℃～435℃）
品質規格	ISO9001:2015 認証取得



素材から出荷まで



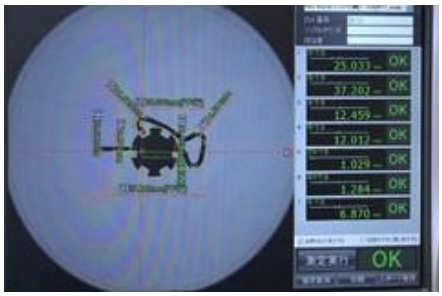
1 成形

ばね用硬鋼線を、ばねやホースクリップの形にしていきます。



2 熱処理

成形した製品を300℃～435℃で焼鈍し、ばね製品（弾性体）にします。



3 検査

ばねが正確な寸法や角度になっているかを検査します。



4 表面処理

サビ止めや識別などのために表面処理を行います。



5 荷姿

お客様のニーズに合わせた荷姿にして、通い函に収めます。



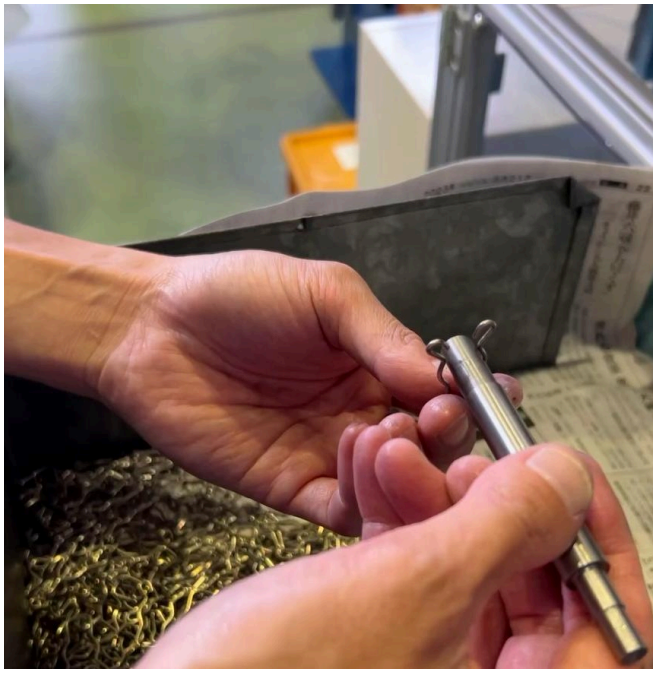
6 出荷

パレットにまとめてトラックに積み込み、お届けします。

設備ごとの対応線径は、6ページの設備一覧に掲載しています。

品質を支える仕組み

高い品質が要求される自動車業界へ製品を納入するため、品質へのこだわりを方針として掲げています。品質管理に対して、お取引先様から高く評価いただき、数多くの表彰を受けております。



品質方針

1. 常に顧客の要求と期待に応え、「顧客満足度向上」を目指す。
2. 国際基準に適応したやり方で「より高い品質」の製品を顧客に提供する。
3. 「全員参加の品質保証」を実施し、継続的な改善をする。



検査

適正な検査基準を保持し、検査専任スタッフが確実な実施体制で品質検査を行っています。検査機器を導入し、デジタルデータに基づいた検査結果で品質確保に努めています。



全員で高める品質

「品質会議」を開催し、全社で品質向上に取り組んでいます。身につけるべき技術は技能マップに沿って、リーダーがスタッフに順番に教育しています。

認証と環境への取り組み

ISO9001:2015	2024年12月 認証取得／登録番号 B2007Q10003RIS／登録範囲：線材・フォーミング加工製品の製造業務
ISO14001:2015	2023年12月19日 認証取得／登録番号 B06E10016R0S
環境方針より	CO2削減に向け残業時間を削減し、電力消費量の5%削減に取り組んでいます。

機械も金型も、自社でつくる

バネの製造機械は、元々エンジニアである会長が考案し、協力企業のサポートで作った自社製です。製造機械の自社設計により、より高品質に安定したバネの量産を可能にしています。



マルチフォーミングマシーン
自社製。工場内で最も台数の多いタイプの機械です。



新型INFフォーミングマシーン
自社製の新型フォーミングマシンです。



FMUフォーミングマシーン
ドイツWAFIOS社製。
コンピュータ制御で、より精密かつ複雑な仕様に対応します。

設備一覧

設備	台数	設備能力等
フォーミングマシン（自社製）	24	線径Φ0.7〜Φ3.0mm
NCフォーミングマシン（自社製）	3	線径Φ0.7〜Φ3.0mm
CNCベンディングマシン（ワフィオス製）	1	線径Φ0.8〜Φ2.5mm
スプリングフォーミングセンターRX-40型（ITAYA製）	1	線径Φ1.5〜Φ4.0mm
プレス（5トン）	1	
熱処理炉（バッチ式）	2	
汎用フライス盤	2	
汎用旋盤	1	
コンターマシン	1	
ボール盤	1	
超硬研磨機	1	
固定グラインダー	1	
投影機	3	
画像寸法測定器	1	
荷重機	1	
エアーコンプレッサー	1	



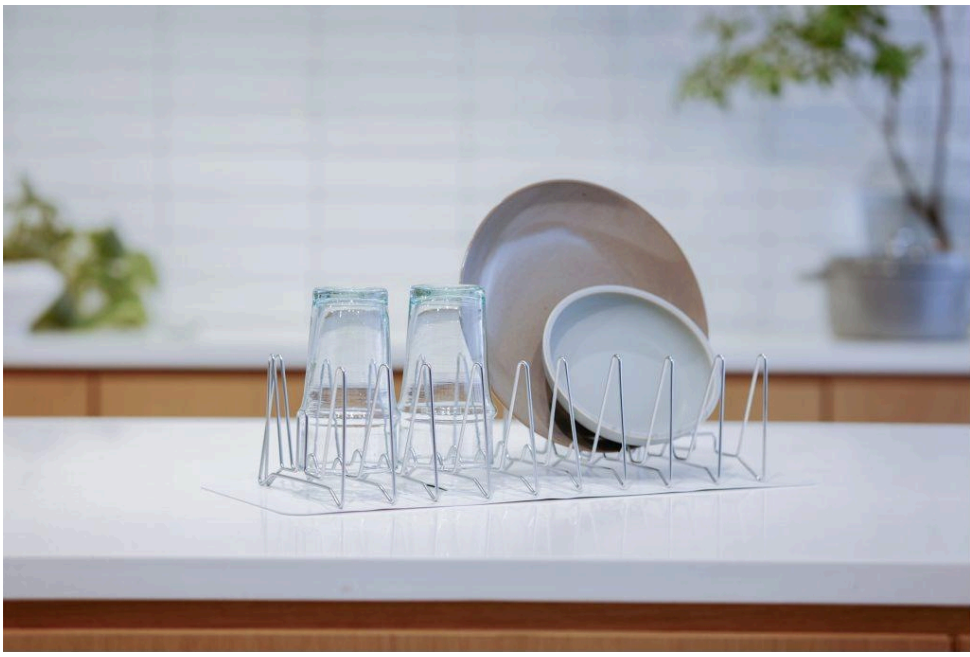


部品の技術を、暮らしの製品へ

自社ブランド lop looop

“伸縮が暮らし方を変える。”を
コンセプトに、2023年に始動した
自社製品ブランドです。

「ばねは部品」という思い込みを外し、
社員の有志とデザイナーで生み出した
「縮む水切りラック」は、使うときは
37cm、しまうときは3cm。
ステンレスのばね材（SUS304）を使い、
食洗機でも洗えます。



ものづくりの幅が広がっています

商品に必要な溶接や研磨を行う企業とのつながりが
生まれ、本業のばね部品でも受注の幅が広がっています。
図面どおりにつくるだけでなく、アイデアを形にする
経験を積み重ねています。

商品ラインナップ

縮む水切りラック／縮むラウンドテーブル／
縮むハーフ水切り／縮むボトルスタンド／縮むまな
板スタンド／縮むセイロ

公式サイト：loplooop.com

線材の曲げ加工のご相談を お待ちしております

次の項目をお知らせいただけますと、ご案内がスムーズです。分かる範囲で問題ございません。

- ☐ 図面（お持ちの場合）
- ☐ 用途・使用する製品
- ☐ 材質
- ☐ 線径
- ☐ 数量の目安
- ☐ ご希望の納期
- ☐ 表面処理のご要望
- ☐ 現在お困りのこと

TEL 0561-38-3003　FAX 0561-38-0131

会社概要

会社名	株式会社石川製作所
所在地	〒470-0162 愛知県愛知郡東郷町大字春木字新池227番地
電話／FAX	0561-38-3003／0561-38-0131
代表者	代表取締役社長　荒川 和哉
創業／設立	昭和21年1月／昭和44年10月
資本金	1,000万円
売上高	3億3,900万円（2025年度9月末決算）
従業員数	27名
業務内容	特殊線ばね製造業（フォーミング加工）
主要取引先	（株）東郷製作所、東郷産業（株）、 中部ビニール工業（株）、川口化成品（株）
主要仕入先	（株）アコー、河崎発條（株）、 （株）愛幸発條、片岡線材（株）
取引先銀行	三菱UFJ銀行 鳴海支店、名古屋銀行 鳴海支店、 西尾信用金庫 鳴海支店、大垣共立銀行 有松支店
認証	ISO9001:2015、ISO14001:2015



本社・工場

沿革

1946年	個人会社として愛知郡鳴海町平手に 創業
1960年	合資会社石川製作所に変更
1969年	株式会社石川製作所に変更。 製造するばねの種類も500種類を超える
2008年	愛知郡東郷町へ新社屋を建設し移転
2023年	自社製品ブランド『lop looop』 立ち上げ
2024年	代表取締役会長に荒川亨が、 代表取締役社長に荒川和哉が就任

経営理念

Mission	関わる全ての人と共に幸せと感動を分かち合う
Vision	金属線材曲げ加工技術を“バネ”にして世界を面白くする会社
Value	誠実・挑戦・感謝

株式会社石川製作所

www.ishikawass.co.jp
TEL 0561-38-3003